

サイバーセキュリティの産学連携コンソーシアム発足

専門学校のセキュリティ教育に企業が情報提供

サイバーセキュリティ人材が不足していると言われ続けているが、セキュリティ職種の採用案件は少ないという声も学校から聞こえてくる。セキュリティ人材は本当に不足しているのか。2022年4月に専門学校を対象とした「セキュリティ人材育成コンソーシアム」を発足した、三井物産セキュアディレクション（MBSD）の執行役員 関原 優 氏にお話を伺った。

セキュリティ人材育成コンソーシアムを発足した理由は

世界的にも不足しているセキュリティ人材ですが、日本でも圧倒的に不足していると言われています。昨今では、大企業から中小企業まで多数の企業でセキュリティ被害が発生し、システムやネットワークの停止により事業を停止せざるを得ない大きなインシデントも多数発生してしまっています。このため、今まで以上に様々な場面でセキュリティに対応できる人材が求められています。当社では、セキュリティコンテストを長年実施していて、専門学校生をセキュリティ人材として育成することの可能性を実感していたため、専門学校との連携により実践的な人材を育成することができると考えたためです。

セキュリティ分野の新卒採用は少ない？

一方で、専門学校の先生方に何うと、セキュリティは高校生には人気があり、対象の学科やコースの入学者は増加傾向だけけれど、セキュリティ分野に就職する学生は少ないというのです。実際には、当社も当社のパートナー企業でも、新卒募集をしており、専門学校生を採用しています。

しかしながら、一般的な新卒採用のサイトの分類には、セキュリティという区分が無いので、セキュリティ部門で採用したい企業があっても、表面上はわかりにくくなっているようです。また、学生の立場に立つと、セキュリティの授業は、IT 基礎の授業の後に位置付けられていて、セキュリティへの興味を膨らませる前に、自分の進路をある程度決めていることが多く、就活の時点で方向を変えることが難しくなっていることもあると聞いています。

コンソーシアムの取り組み内容

セキュリティ教育を担当されている先生方も、セキュリティの最新事情についての情報や、演習で扱うデータの収集等に苦労されていることが多いそうです。コンソーシアムでは、当社はもちろん、当社のパートナーと協力し、実際のセキュリティサービスの現場での業務につながる教育やコンテンツを提供することが可能です。最新のサイバーセキュリティに触れる機会を創出することで、就職後に早期に活躍頂くための実践的な取り組みを進め、先生向けの勉強会や、学生向けのセミナー等も取り組んでいく予定です。

専門学校に期待すること

IT エンジニアとして活躍したい学生が、沢山在籍している専門学校は、セキュリティ業界にとって大切なパートナーになると思っています。セキュリティの専門事業者だけに限らず、地域の企業にセキュリティの知識を持ったエンジニアが就職すれば、日本全体のセキュリティレベルの向上にもつながるでしょう。セキュリティ教育に携わっている先生方と連携して、学生のセキュリティへの関心とスキルとそこで活躍するモチベーションを向上させていけたらと思っています。多くの専門学校にこのコンソーシアムに参加していただきたいと考えています。

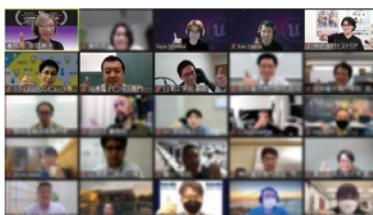


関原 優 氏

MBSD 設立当時から 20 年以上にわたり、エンジニアとして攻撃分析 / 脆弱性診断 / コンサルティングなどセキュリティ事業に従事。現在は執行役員として、官公庁やグローバル企業グループなど顧客企業のセキュリティ施策推進を支援している。

第7回「Unreal Engine アカデミックサミット」開催報告 [PR]

6月16日に掲記イベントをオンラインで開催しました。Part1ではパートナー校限定で学生向けセッションを実施。Part2では講師の方を対象とし、Unreal Engine (以下、UE) 5を授業に取り入れるためのポイントをお伝えした他、UEを授業導入している先生方をお迎えし「UEを利用した教育」をテーマとしたパネルディスカッションを行いました。UEの授業導入についてレベルや活用する機能など、チャットからの参加者も交えて議論し、有意義な会となりました。



お問い合わせ：UEエデュケーションサミット事務局
(株式会社ビーアライブ内)
mail: ue_summit@setten.sgec.or.jp
UEエデュケーションサミット事務局はTCE財団の検定事業に賛同します。

専門学校生対象 Spring & Summer 2022 Tシャツデザインコンテスト 最優秀賞決定! [PR]

掲記の最終審査結果が発表されました。今回は過去最多となる1305作品の応募があり、その中から上位3作品が最優秀賞を受賞しました。また最優秀学校賞には「大原情報医療保育専門学校和歌山校」が受賞しました。

【受賞者とその作品】



1位 敬台電子情報&ビジネス専門学校 玉手碧さん
2位 山本学園情報文化専門学校 横山春那さん
3位 つくばビジネスカレッジ専門学校 住谷幸音さん

主催：株式会社ジーンズメイト (現：REXT株式会社)
お問い合わせ：【専門学校と経営】事務局
ジーンズメイト事業部はTCE財団の検定事業に賛同します。

産学連携「LX人材育成部会」発足説明会開催 [PR]

地域の人材でDXをローカルトランスフォーム

一般社団法人日本RPA協会主催の産学連携「LX人材育成部会」発足会が5月24日にオンライン開催されました。LX人材育成部会は、地域のDXを地域の人材によりローカルトランスフォーム(以下、LX)するための人材育成と、地域でのDX事業の

創出を目的とし、発足しました。デジタルで物事を発想出来る人材の育成を産学で取り組み、「デジタル人材の地産地消」を目指します。発足会では、地方の労働力不足にRPA 導入が役立つことや、医療分野でも RPA 導入が加速している現

状の報告と、伊予鉄総合企画株式会社による「企業における DX、RPA 推進事例」、RPA のトライアル授業を実施した情報科学専門学校による発表がありました。今年度は RPA 授業を複数校でトライアル実施し、産学で LX 人材育成に取り組んでいきます。

是非、皆様との共創をスタートさせて頂きたくお願いいたします！

- ◆現場RPA(デジタルレイバー)力は一丁目一番地
 - 短期間で業務を任せ、デジタルレイバーの必要性
 - クロスファンクショナル/デジタル多業務能力のスタートには適している
- ◆日本の未来のプレイスルーは地域主導モデルにかかっている
 - 日本企業を取り巻く急激なデジタル化の加速
 - 地域と大学/企業の連携、産学連携、産学連携、LXプロジェクト
 - LXモデルも見える人材、新しいLXの実現に向けて
- ◆新しいLX(ローカルトランスフォーム)人材の予兆(藍がみえてきた)
 - デジタル多業務能力・フィナンシャル・事業推進力(ゼロイチ力)

⇒ 地域主導×あらゆる人材輩出×ノウハウシェアリング
によってリアに未来人材創出のトレンドを！

学習目的

- RPAの概念と考え方、プログラミングによるシステム開発との違いを学び、その有効性を理解する。
- パソコン業務(作業)自動化体験を通して論理的な思考能力、実用に基づく専門能力、問題解決力を身につける。
- 企業におけるRPA導入・運用・管理の課題を知り、学習者自ら如何にして学んだ内容を業務に活かせるかを学ぶ。

到達目標

今後、求められるデジタル人材として継続的に新しいデジタルツールに目を向けその技術を活用してRPAによる担当業務の自動化、および顧客への満足度向上のアイデアを自ら出し、提案できる人材となる。

お問い合わせ

LX人材育成部会事務局
(株ビーアライブ内)
mail: LX@setten.sgec.or.jp

一般社団法人 日本RPA協会はTCE財団の検定事業に賛同します。

専門学校と経営 | 通信

No.15 2022年7月発行 (年4回)

■本誌記事内容に関するお問い合わせ
【専門学校と経営】事務局

〒105-0021 東京都港区東新橋2-18-3 ルネパルティエーレ汐留906 (株式会社ビーアライブ内)
[TEL]03-3436-2035 [Mail]setten-info@sgec.or.jp [URL]https://setten.sgec.or.jp/
協力：一般社団法人 職業教育・キャリア教育財団 (TCE財団) 事業部事業課 検定試験センター

「創る」「使う」「伝える」
情報検定 J 検
URL <https://jken.sgec.or.jp/>

ビジネス能力検定 日検
Jobpass
ジョブパス
URL <https://bken.sgec.or.jp/>

●【専門学校と経営】は、TCE財団の検定事業 (J検・B検) と連携して、専門学校の産学連携を促進する様々な取組について情報発信しています。